

月刊 工連ニュース

OKINAWA
INDUSTRIAL FEDERATION NEWS



2016年 県産品奨励月間標語
第40回 沖縄の産業まつりテーマ 「じょうとーむん 使うよろこび 県産品」

育む、導く。
そのチカラ無限大



- 第32回定期総会
- 2016県産品奨励月間
- 「元気カンパニー」(株)リュウクス

7月号
2016
Vol.620

島も、人も、結ぶチカラ。



私たちは、約束します。

本島・離島を結び、そこにある暮らしと経済を結び、

一人ひとりの末永い幸せを結ぶことを。

すべては沖縄のために。



地域とともに、地域のために

沖縄電力

月刊 **工連**ニュース
OKINAWA
INDUSTRIAL FEDERATION NEWS

7 2016
月号

Vol.620

2p > 2016年 県産品奨励月間 ごあいさつ

沖縄県知事 翁長 雄志
県産品奨励月間実行委員会会長 呉屋 守章

3p > 2016年 県産品奨励月間 第1回実行委員会

4~5p > 2016年 県産品奨励月間スタート

6p > 学校給食における児童生徒を囲んでの昼食会
南城市立 知念中学校

7p > 2016年 県産品奨励月間の主な事業

8~11p > 私たちも県産品奨励月間を応援しています。

12~13p > (公社)沖縄県工業連合会 第32回定時総会

14~15p > キラリ! 元気カンパニー「沖縄の未来を照らす企業」
高品質フライアッシュ開発で
沖縄の住宅・文化を守る
株式会社リュウクス

16p > ちばりよ～県産品
沖縄生まれの塩 めちまーすが世界へ
株式会社めちまーす

17p > 沖縄県食品産業協議会 第39回通常総会
(一社)沖縄県発明協会「第6回社員総会」

18p > (公社)沖縄県工業連合会青年部会
「第1回全体会議」

輻射式冷暖房装置「エコワイン」記者会見

19p > 障害者雇用に係る取り組み
工場視察及び支援事業説明会

20p > 琉球大学工学部後援会からのお知らせ
2016年5月
工学部後援会主催就職説明会報告

21p > 沖縄職業能力開発大学校
ホテルビジネス科のご案内

22p > 沖縄高専 dari
沖縄高専オープンキャンパス

23p > 工業技術センター dari
食品・化学研究分野における分析機器のご紹介

24p > トピックス
沖工連青年部会 会員募集
会員募集のご案内
会員の皆様へ

2016年 6月 工連日誌

9日(木) 第32回 定時総会・表彰式・懇親会
●時間／16:30～20:00 ●場所／沖縄都ホテル

10日(金) 2016年 県産品奨励月間事業 第1回実行委員会
●時間／14:00～15:00 ●場所／ホテルロイヤルオリオン

13日(月) 2016年 県産品奨励月間事業に関する説明会
●時間／14:00～15:00 ●場所／沖縄産業支援センター

14日(火) 障害者雇用に係る取組 工場視察及び支援事業説明会
●時間／14:00～16:00 ●場所／(株)ざまみダンボール

17日(金) 台湾経済団体とのMOU締結式
●時間／14:00～14:30 ●場所／台湾

21日(火) 沖縄県食品産業協議会 第39回通常総会・懇親会
●時間／17:00～20:00 ●場所／サザンプラザ海邦

23日(木) 7月定例執行部会
●時間／10:30～11:50 ●場所／ホテルロイヤルオリオン
平成28年度 第2回理事会
●時間／12:00～13:30 ●場所／ホテルロイヤルオリオン

特許等取得活用支援事業

知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

ワンストップサービス

秘密厳守

相談無料

個別対応のため予約が必要です



0570-082100 (有料)

窓口運営時間…8:30～17:15 (月～金) ※窓口支援担当者が常駐しています。

※電話、インターネットでお申ください。

※ご相談頂いた内容は守秘義務により保護されます。

■内閣府沖縄総合事務局委託事業 /

実施：一般社団法人沖縄県発明協会

☎ 098-921-2666

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。
●工連ニュースへのご意見ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。
E-mail/info@okikouren.or.jp ホームページ/http://www.okikouren.or.jp

発行所／公益社団法人 沖縄県工業連合会
那覇市字小禄1831-1沖縄産業支援センター6F
電話(098)859-6191 FAX(098)859-6193
編集・印刷／有限会社サン印刷 電話(098)889-3679

県産品奨励月間

ごあいさつ



沖縄県知事

翁長 雄志



県産品奨励月間
実行委員会会長

呉屋 守章

はいさい、ぐすーよー、ちゅーうが
なびら。

7月1日から31日までの1か月間

は、県産品奨励月間です。

県産品奨励月間は、県産品の愛用に

ついて県民の皆様に広く理解してい

ただくとともに、沖縄県の産業の振

興及び雇用の拡大を図ることを目的

としています。

沖縄の地域特性を生かした県産品

は、生産技術や品質の向上とあいまつ

て、その種類や内容も多様化し、多く

の県民に支持されるとともに、県外及

び海外にも認知度が高まってきてい

ます。

沖縄県としても、引き続き、県内企

業への優先発注及び県産品の優先使

用を積極的に推進し、需要拡大を図る

ほか、多様化する消費者ニーズに合つ

た県産品の開発促進等に向け、更なる

技術力向上を支援してまいります。

月間中は、「じょうとーむん使うよ

ろこび県産品」の標語の下、街頭キャ

ンペーンや沖縄県推奨優良県産品展

示会、ふるさと企業訪問等県内各地で

様々なイベントを通じ、県産品の魅力

をアピールします。

多くの県民の皆様が、この県産品奨

励月間を契機に、使うよろこびを感じ

られる県産品のすばらしさを改めて

認識していただき、これまで以上に御

愛用くださいますようお願い申し上

げます。

ゆたさるぐどう、うにげーさびら。

今年も「県産品奨励月間」がスタートしました。この活動は、県産品を愛用することで沖縄県が豊なことを、県民の皆様に再認識していただく目的で実施いたします。

沖縄県が自立型経済の構築に向けて策定した「沖縄21世紀ビジョン基本計画」では、「県産品の販路拡大」「地域ブランドの形成」といった地場産業振興に向けた事業を強く押し進めることになっています。

また、同計画に基づき昨年度策定した「アジア経済戦略構想」では、「沖縄からアジアへとつながる新たなものづくり産業の推進」を掲げており、地場産業の振興を図

りつつ、アジアとの経済交流を進め、ものづくり産業の高度化を目指しています。

地場産業発展の一番の近道が「県産品の愛用」です。県民一人一人が県産品を愛用することで、雇

用の確保と創出、所得水準の向上など地域社会の発展につながり、ひいては沖縄の自立経済に向けて、大きな原動力となります。

この機会に、一人でも多くの方々に、県産品をもつと知つていただけ、愛用していただきますことを切に願っております。

業への優先発注及び県産品の優先使

用を積極的に推進し、需要拡大を図る

ほか、多様化する消費者ニーズに合つ

た県産品の開発促進等に向け、更なる

技術力向上を支援してまいります。

月間中は、「じょうとーむん使うよ

ろこび県産品」の標語の下、街頭キャ

ンペーンや沖縄県推奨優良県産品展

示会、ふるさと企業訪問等県内各地で

様々なイベントを通じ、県産品の魅力

をアピールします。

多くの県民の皆様が、この県産品奨

励月間を契機に、使うよろこびを感じ

られる県産品のすばらしさを改めて

認識していただき、これまで以上に御

愛用くださいますようお願い申し上

げます。

ゆたさるぐどう、うにげーさびら。

2016年 県産品奨励月間

第1回 実行委員会

平成28年6月10日(金)
ホテルロイヤルオリオン

毎年7月は県産品奨励月間と定められており、沖縄県産業の振興と雇用拡大を図るための様々な事業が実施されることとなっています。その第1回実行委員会が6月10日那覇市のホテルロイヤルオリオンで開かれ、沖縄県、沖縄県工業連合会等19団体で構成されました。

吳屋守章実行委員会会長は、「今年度も各団体が一丸となつて県産品奨励月間の期間中の事業を成功に導きたい」と挨拶。委員会の団結と各団体の協力を求めました。

初日である7月1日の街頭パレード、キヤンペーンを皮切りに、要請活動や県産品展示会等多くの事業が控えており、委員会においてはこれらの実施概要と細かな内容について審議されました。さらに、県産品奨励月間をPRするためのポスターを作成、約1290ヶ所で配布することとなつており、これに使用する標語とポスターデザインが公募されました。標語に508点、ポスターに16点の応募があり、審査の結果選定され



県産品奨励月間 実行委員会
吳屋 守章会長

た優秀作品への表彰も同委員会において行われました。両部門で審査員を務めた沖縄県工業連合会桑江修専務理事は「いずれも県産品に対する強いこだわりを感じることができた」とし、県産品の魅力を広くPRするために活用したいと話しています。

委員会の最後には質疑応答・意見交換会の時間も設けられ、より広い世代へPRするための手法や県に対する要請の内容について等々様々な意見が交わされ、県産品奨励月間各事業の成功に向けて委員会の結束が固められました。



期間中の主な事業について効果的な普及活動を図るため、様々な意見が活発に交わされました。



今年の県産品奨励月間の告知ポスター(応募作品)には、「県産品に対する強いこだわり」が感じられると桑江修専務理事より講評がありました。





今年の標語も横断幕に掲げられ、沿道からの注目を集めました。



炎天下にも係わらず、パレードには沿道から記念撮影を求める声もあり、賑やかなスタートが切れました。

毎年7月1日～31日は県産品奨励月間となっています。その初日であり、また「県産品の日」と制定されている7月1日、那覇市国際通りで街頭パレードが行われました。

パレードには、沖縄県工業連合会県屋守章会長が会長を務める、県内経済団体等19団体からなる県産品奨励月間実行委員会関係者や県内各企業代表者等約250名が参加し、安里の牧志公園から沖縄県庁までの道のりを練り歩き、県産品愛用をPRしました。また、県産品の消費拡大によって県内の雇用安定を目指すということから、みんなでグッジョブ運動の推進をPRしました。

宜野湾高校マーチングバンド、泡盛の女王、ミス那覇、ミス沖縄も笑顔で通行人に手を振る等、パレードの列に華を添えました。今年も晴天に恵まれ、パレード参加者は強い日差しの中、額に汗を光らせながら行進していました。

今年の標語「じょうとーむん 使うよろこび 県産品」は、約1か月間の県産品奨励月間期間中に実施される様々な事業で使用されることとなっています。パレードにおいても横断幕が掲げられました。

パレードの終点である県庁前県民広場では街頭キヤンペーン、セレモニーが開催され、吳屋会長の他、沖縄県商工労働部新垣秀彦産業雇用統括監、連合沖縄大城紀夫会長、久高将光那覇市副市長が挨拶しました。



県産品奨励月間実行委員会
会長 吳屋守章氏



沖縄県商工労働部
産業雇用統括監
新垣秀彦氏



那覇市副市長
久高将光氏



連合沖縄
会長 大城紀夫氏



2016年 県産品奨励月間スタート

「じょうとーむん 使うよろこび 県産品」
7月1日、国際通り街頭パレードを開催



パレードにはミス沖縄のほか、各ミス代表が参加し、華を添えました。

吳屋会長は「県産品を愛用することで、県内雇用確保、県民所得向上につながる。沖縄県の経済発展のため、積極的に県産品を取り入れてもらいたい」と県産品愛用を呼びかけました。セレモニーの参加者から大きな拍手が送られ、県産品奨励月間の初日として全体の気運が高まりました。
同日には宮古島マックスバリュ宮古南店、石垣市役所前ピロティ等、離島でもキャンペーンが開催されています。この日より1か月間、県内各地で販売促進キャンペーングや要請活動、展示会、ふるさと企業訪問等様々な事業が予定されており、実行委員会を中心とした県産品PRが進められます。



南城市立知念中学校
桑江常勝 校長



県産品奨励月間実行委員会
吳屋守章 会長



沖縄県学校栄養士会
宜保律子 会長

今年は南城市立知念中学校で実施され、県産品奨励月間実行委員会吳屋守章会長、南城市的具志堅兼栄副市長、JAおきなわ大城勉理事長、沖縄県学校給食会の屋嘉比守常務、沖縄県学校栄養士会の宜保律子会長、知念中学校桑江常勝校長等が参加しました。

「学校給食における児童生徒を囲んでの昼食会」は県産品需要喚起、県産業振興、雇用拡大を目的に定められた「県産品奨励月間」事業の一環として毎年JAおきなわ、市町村、工業連合会等から代表者が県内の学校を訪問し、生徒たちと食事をともにしながら交流を図るものです。

自らも知念中学校出身である具志堅副市长も後輩たちに向け「沖縄で作られた食材は、どんな人が作ったかがわかり安心・安全。農家や漁師の方々に感謝しながら食してほしい」と語りかけました。

学校給食における児童生徒を囲んでの昼食会

南城市立知念中学校のみなさんと 沖縄県産食材を使った 「おいしい給食」をいただく



この日の給食は、黒米ごはん、県産魚さわらに県産ハーブをまぶして揚げたフライ、もずくのスープ、ゴーヤーとモウイの和え物、シーサークリーパーソルベといった献立でした。吳屋会長をはじめとする参加者は生徒たちとともに、新鮮な県産食材を使用した給食を食べながら、学校生活のことや家庭でのことなどについて語り合い、交流を深めました。



2016年 県産品奨励月間の主な事業

月 日	事 業 内 容	実 施 主 体
5月中	●学校給食における県産食材の優先使用についての文書要請	工連
6/10(金)	●県産品奨励月間第1回実行委員会	実行委員会
6月中	●市町村、JA、企業等に対する県産品使用奨励の懸垂幕、のぼり等の設置協力依頼 ●関係機関等へのポスター配布(1,290カ所)	沖縄県、工連 市長会・町村会 沖縄県・工連
6月下旬 7月下旬	●「県内企業への優先発注及び県産品の優先使用基本方針」及び「大型プロジェクト建設工事発注方針」についての県の要請	沖縄県
月間期間中	●広報メディアによる広報	実行委員会
7/1(金)	●学校給食における児童生徒を囲んでの昼食会(場所:南城市立知念中学校)	県学校栄養士会、JA 県学校給食会、工連
7/1(金)	●街頭パレード(牧志公園～県庁前県民広場)(16:00～16:30) ●街頭キャンペーン 那霸市:県庁前県民広場(16:40～17:00) 宮 古:マックスバリュ宮古南店(16:00～17:00) 石 垣:石垣市役所前ピロティ(15:30～16:30)	実行委員会
7/1(金)	●地元産品奨励及び地元企業優先使用の要請活動	県連:34商工会
7/4(月)	●国、県、関係機関への要請(14カ所)	5団体
7/5(火)	●国・県関係出先機関への要請(国:6カ所、県:6カ所)	5団体
7/6(水)	●食品関係大口需要者への要請(14カ所) ●建材関係大口需要者への要請(12カ所)	5団体
7/7(木) ～19(火)	●市町村、議会等に対する県産品使用奨励の要請活動(91カ所)	5団体
6/30(木) ～7/3(日)	●2016沖縄の物産と観光フェア	沖縄県、イオン琉球 沖縄県物産公社
7/1(金) ～31(日)	●わしたシップ国際通り本店、那覇空港わしたシップ周年祭	沖縄県物産公社
7/1(金) ～31(日)	●平成28年度みんなでグッジョブ運動強化事業	みんなでグッジョブ運動 推進本部
7/14(木) ～8/1(月)	●泡盛同好会・泡盛フェア 開催場所:北海道、埼玉、大阪、山口、新潟	県酒造組合 協同組合琉球泡盛古酒の郷
7/4(月) ～8(金)	●沖縄県優良県産品展示会 場所:県庁1階県民ホール	沖縄県
7/2(土) 7/9(土) 7/16(土)	●食と子どもの健康展 開催場所: 7/2(土)サンエー豊見城ウイングシティ、7/9(土)イオン具志川店、7/16(土)イオン名護店	県学校栄養士会、県学校給食会
7月中	●平成28年度マンゴー販売促進キャンペー	JA、県農水産物販売促進協議会
7/20(水) 7/27(水)	●ふるさと企業訪問(実行委員会構成団体 他) ●ふるさと企業訪問(公募による一般消費者)	沖縄県・工連
7/22(金)	●県産建材・リサイクル関連企業訪問	工連
7/27(水)	●地場産物を活用した学校給食献立調理発表会	県学校給食会・県学校栄養士会
7/29(金)	●沖縄県との県産建設資材優先使用に関する意見交換会	沖縄県・工連
4/1～8/31	●かりゆしウェア感謝還元キャンペー	県衣類縫製品工業組合
通年	●かりゆしウェア普及販売事業、組合員への周知活動	県ホテル旅館生活衛生同業組合
8月中旬	●県産品奨励月間実行委員会(実績報告会)	実行委員会



FRP関連商品
FRP検査路・合成床板・飛来塩分遮断板・マンホール

秀金秀鉄工株式会社

代表取締役社長 川満 彦三

〒903-0118 沖縄県中頭郡西原町字小波津567番地
TEL.098-945-3351 FAX.098-945-9974

- オキポール ●沖縄ハイポール ●照明・防球ネット用ポール
- 防災無線・携帯電話アンテナ用ポール ●ポール建柱工事施工一式
- 都市景観美化用コンクリート製品全般 ●PHC・CPRCバイル
- 高支持力杭工法及び各種杭打工法の施工 ●C.C.BOX(電線共同溝)
- その他地中化製品 ●テールアルメ工法(補強土壁工法)
- プレキャスト製品の設計・製造販売・施工



コンクリートテクノロジーの未来をみつめて

沖縄テクノクリート株式会社

代表取締役社長 仲本 幸文

本社/ 〒900-0003 沖縄県那覇市宇安謝620番地 TEL.(098)868-2522
海邦工場/ 〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦町3番地1 TEL.(098)934-5512

私たちも
県産品奨励月間を
応援しています。



沖縄の海水塩「青い海」

シマース本舗

株式会社 青い海

TEL 098-992-1140

FAX 098-994-8464

<http://www.aoiumi.co.jp>

マンホール鉄蓋で郷土の環境作りに奉仕する 沖縄鑄鉄工業株式会社

沖縄県リサイクル資材評価認定

マンホール鉄蓋 第171号 再生プラスチック第11-2号



代表取締役

眞志喜 実

西原町字小那覇 958 番地
(ゆいくる)
TEL(098)945-5453 FAX(098)945-5924

ハイウェイ沖縄

沖縄県コンクリート 二次製品協同組合

理 事 長 大 城 保 一
副 理 事 長 又 吉 安 弘
副 理 事 長 新 垣 力 太

沖縄県宜野湾市大山7-3-16 TEL(098)898-7785(代)



信頼で創るより良い環境

沖電水工事株式会社

代表取締役 小波津 聰

本社 〒900-0016 那覇市前島2丁目1番10号 TEL(098)867-6311(代) FAX(098)868-3282
西原営業所 〒903-0117 西原町翁長240-1 TEL(098)945-4742 FAX(098)945-4728

まごころ包みのお手伝い。

リユーセロ

代表取締役社長 知名 洋

沖縄県糸満市西崎町4-9-4 ☎(098)992-3211(代)
<http://www.ryusero.co.jp>



JIS畳床工場
沖縄県推奨優良県産品(8品目)

特許マイナスイオン畳
介護用洗える畳 ほか6品目

沖縄県内織物の伝統文化を畳縁に活かした
「ちゅらべり」「琉球かすり縁」や「シーサー縁」「ゴーヤー縁」
等18点 好評発売中

株式会社 沖縄敷物商会 沖縄県那覇市若狭3丁目42番1号
TEL.(098)868-3809・FAX.(098)868-2563 <http://www.oki-shiki.co.jp/>



沖縄県酒造協同組合 <http://www.awamori.or.jp>
お酒は20度を過ぎてから。お酒は楽しく運営を。

meiji
明治グループ

県民の健康と生活文化の創造に貢献する
沖縄明治乳業株式会社

〒901-2502 沖縄県浦添市牧港1-65-1 TEL(098)877-5274

大切にします。沖縄の味！

 **沖縄製粉**

代表取締役社長 竹内一郎

きもち、つつみ、つながる。
KAKAZ
株式会社 嘉数グラビヤ

糸満市西崎町5-3-6 西崎工業団地内
☎ 098-992-4011 FAX 098-994-2294
HP:<http://kakaz.info/>

卓越した味わいを皆様の食卓へ。



株式会社 沖縄ホーメル

代表取締役社長 比嘉 昌治

探究心

<http://www.diis.co.jp>

□第一印刷株式会社

TEL.098-850-5858

www.mango-kariyushi.jp

かりゆしウェア企画・製造
Mango
株式会社 マンゴープラス
TEL:098-858-1676



住み良い豊かな環境を創る
開邦工業

県内唯一の一般都市ごみ焼却炉・火葬炉メーカー
焼却施設のメンテナンス、修繕・補修工事
関東一円で展開する県内産のエンジニアリングをご活用下さい。
本社/うるま市字州崎7-19
東京支社/東京都港区芝2-6-3 6F
茨城県さしま事業所・沖縄市営業所・与那原営業所・南城営業所・八重山営業所
エコマール那覇リサイクル棟維持管理事業所
<http://www.kaiho-k.co.jp> バグフィルターのことなら カイホウおまかせ 検索



ビニールパイプ
ポリエチレンパイプ 製造販売

県産品を愛用しましょう。

沖水化成株式会社

代表取締役 岸本 力

本社 〒904-2162 沖縄市海邦町3-14
TEL.(098)982-1371 FAX.(098)921-2336

自然との調和を求めて・・・新しい時代の新しい技術

 株式会社 **技建**

代表取締役社長 津波古 義秀

日本工業規格 表示認証工場

ISO 9001.140001 認証取得

本社 〒901-1207 南城市大里字古堅1246番地 電話098-945-2787
ホームページ <http://www.gikenpc.co.jp> FAX098-945-1181



琉球ガラス村



ダンボール・パッケージの

総合紙器

(098) 992-1111

コンクリート製品の製造・販売及び施工
日本工業規格認証取得工場 ISO9001審査登録(認証)

® リウコン株式会社

代表取締役社長 大城 正治

〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那霸1187番地
TEL: 098-945-3778(代) FAX: 098-945-5065

www.riukon.co.jp [リウコン] 検索

ユニフォームの総合販売

企業ユニフォーム及びかりゆしウェア製造販売
官公庁制服・学生服・製造販売



株式会社 **日進商会**

〒901-0306 沖縄県糸満市西崎町4丁目21-7
TEL(098)840-3033 FAX(098)840-3010

MAJUN. かりゆしウェア



必要な時に、必要な商品を適正な価格でご提供いたします。



県産品を中心包むお手伝い。

株式会社 **ざまみダンボール**
ダンボール・紙・文具・事務用品・事務機・OA機器の総合販売商社

〒901-0305 沖縄県糸満市西崎町4丁目7番 営業1課(ダンボール)
TEL(098)992-1616 FAX(098)992-1155

LED防犯灯 名称:レキオ・ルック



太陽光システム防犯灯



消費電力10.5W

(有)共栄電気工事
TEL.(098)937-3345

この商品は県産品を使った例です。



“県産品”トイレベース【耐水仕様】・アルミパーテイションメーカー



沖縄三和シャッター株式会社

代表取締役社長 尾上 裕昭

〒901-0212 豊見城市字平良 84-1

本社 TEL.(098)840-5538 沖縄北営業所 TEL.(098)965-5538
製造部 TEL.(098)965-5151 石垣営業所 TEL.(0980)83-3838
<http://www.okinawa-sanwa.co.jp/>

Fashion Candy[®]
(株)ファッショナビティ

〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山2-21-22 TEL(098)897-5194
<http://www.fashioncandy.co.jp>



久米島の久米仙500mlパウチ
もっと気軽に、もっと手軽に。

久米島の久米仙
www.k-kumesen.co.jp

県産品を愛用しまじょ。

私たちも県産品奨励月間を応援しています。

人と人の暮らしに寄り添う百年企業へ



秀 金秀アルミ工業株式会社

おいしい幸せ
オキコ

ときを経ても、
これからも
おいしい幸せ。

70th
KIKO オキコ株式会社

県産品を愛用しましょう。

郷土の資源で郷土をつくる

琉球セメント

代表取締役社長 西村聰

鉄のリサイクルを通して
社会に貢献する
沖縄唯一の電炉メーカー
(ISO9001 審査登録)

 **拓南製鐵** 株式会社

代表取締役社長 古波津 昇

本社 那覇市壺川3-2-4 ☎ 098-832-0588
新中城工場 沖縄市海邦町3-26 ☎ 098-934-6822
石灰工場 名護市字安和2656-2 ☎ 0980-53-8018



飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。
妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は、おいしく、適量に。のぞめあはりライカム® オリオンビール株式会社

あなたの日常に個性豊かなアートガラスをプラスして下さい。

ONNA OGC GLASS
Glass craft learning center

恩納ガラス工房 0120-34-1598

株式会社 恩納ガラス工芸育成センター

本社/沖縄県恩納村字富着85番地
TEL.098-0965-3090 FAX.098-965-5841
MAIL / info@onna-glass-okinawa.co.jp

<http://www.onna-glass-okinawa.co.jp>

歴史に生まれ 暮らしに磨かれ
職人の技と偶然が生み出した味わいが
今なお人々に愛されています。

公益社団法人 沖縄県工業連合会

平成28年度 第32回 定時総会

平成28年6月9日(木) 沖縄都ホテル



(公社)沖縄県工業連合会
呉屋 守章 会長

第32回定時総会が6月9日那覇市沖縄都ホテルにて開催されました。開会の挨拶として壇上に立った呉屋守章会長は「県産品奨励月間期間中の各キャンペーン、第40回の記念大会となる産業まつりの開催等、今年度も様々な事業が予定されており、会員一丸となって取り組んでいくことが必要。県経済の活性化のため結束を固めていこう」と語り、会員企業代に伴う理事改選について承認されました。

総会は呉屋会長が議長となつて進行し、平成27年度の様々な事業の報告、收支決算、理事企業代表者交代に伴う理事改選について承認されました。

総会終了後には表彰式が開催され、優良従業員賞、優秀技能者賞、創意工夫功労者賞に選出された個人、団体が表彰を受けました。また、本県産業振興に多大な功績のあつた経済人に贈られるオグレスビー氏工業功労者賞には健康食品産業の発展に貢献した株式会社仲善の仲本勝男会長とかりゆしウエアの普及発展に貢献した沖縄県衣類縫製品工業組合の大坪慎治顧問の両氏が選ばれました。両氏は表彰式後開催の懇親会でスピーチし受賞の喜びを語りました。懇親会には沖縄県、内閣府沖縄総合事務局、経済団体、教育機関などから多くの来賓の出

席がありました。また6月中旬に本会と台湾経済団体が経済連携協定(MOU)を結ぶことから、今回は特別に台北駐日経済文化代表処那覇分処の蘇啓誠処長に乾杯の音頭をしていただきました。

執行部は壇上に上がり会員や関係機関に感謝を述べ、その際に呉屋会長から出席者全員に対し7月1日から始まる県産品奨励運動への協力をお願いしました。



【来賓】
沖縄県商工労働部
部長
屋比久 盛敏 氏



【来賓】
内閣府沖縄総合事務局
局長
久保田 治 氏



【乾杯の挨拶】
台北駐日経済文化代表処
那覇分処処長
蘇啓誠(そけいせい) 氏

宮古島市立	宮古島市立	宮古島市立	宮古島市立	宮古島市立	宮古島市立	宮古島市立	宮古島市立
城辺中学校	福嶺中学校	西城中学校					
砂川中学校	下地中学校						
上野中学校	佐良浜中学校	伊良部中学校	多良間中学校	多良間中学校	宮古島市立	宮古島市立	宮古島市立
					宮古島市立	宮古島市立	宮古島市立

図書贈呈

●助成金交付（人材育成助成金）

有限会社カワセツ
代表取締役 川平悟氏

第24回 古波津製造業育成基金

※本県の健康食品産業の発展に貢献
沖縄県衣類縫製品工業組合
顧問 大坪慎治 氏

●第50回オグレスビー氏工業功労者賞

- 優良從業員賞【50社86名】
- 創意工夫功劳者賞【1名】
- 優秀技能者賞【8名】

第32回 定時総会受賞者



【オグレスビー氏工業功労者】
農業生産法人株式会社仲善
代表取締役会長 仲本勝男氏



【オグレスビー氏工業功労者】
沖縄県衣類縫製品工業組合
顧問 大坪慎治氏



今年も会員企業から、多くの受賞者が壇上に上がり、それぞれの功績を称える表彰が執り行われました。



ピープルズバンク 沖縄銀行

頭取 玉城義昭



CfFA施工事例(戸建住宅)



**キラリ!
元気
カンパニー**
沖縄の未来を
照らす企業

高品質フライアッシュ開発で 沖縄の住宅・文化を守る

株式会社 リュウクス

独自の環境負荷低減型技術により
生まれた高品質フライアッシュ
(CfFA)

今年6月24日、うるま市の株式会社ゼロ
テクノ沖縄が株式会社リュウクスへと社名
変更しました。

コンクリートのひび割れ抑制や耐久性の
向上により建物の長寿命化を実現する加
熱改質フライアッシュ(CfFA)の製造・
販売をおもに手掛けています。

大分大学発ベンチャー企業である株式会
社ゼロテクノが同大学コンクリート工学研
究室と共同研究によってその基幹技術と
量産技術の確立に成功。平成23年には関西
在住の沖縄県出身者の団体である「WUB
(ワールドウチナーンチゴビジネスアソシエ
ーション関西)」のメンバーが中心となり、
株式会社ゼロテクノ沖縄として南城市に
法人設立。沖縄県内におけるCfFA製品
の製造・販売を行つてきました。平成25年に
は現在のうるま市州崎へと本社工場を移
転し、現在に至ります。

CfFA誕生のきっかけは、琉球大学から
の依頼によるものだった」と株式会社リュウ
クス代表取締役謝花成氏は話します。四
方を海に囲まれ、台風の多い沖縄では塩害
によるコンクリートの劣化が問題視されて
おり、「コンクリート構造物の高耐久・長寿命
化を図るため、フライアッシュの高品質化研
究が開始されました。

火力発電施設において産業廃棄物とし
て残る石灰灰(フライアッシュ)を加熱改質
装置と分級装置によって加工し、コンクリ
ート混和材へと生まれ変わらせる日本初
の技術として、国土交通省NETTISにも
登録されています。

フライアッシュの粒子がセメント成分と
コンクリート内部で化学反応を起こし、化

合物を生成。内部の組織が緻密化すること
によって、通常のコンクリートに比べてより
長期にわたり強度が増進すると同時に、塩
分・水分CO₂といった外部からの劣化因
子の侵入を防ぎ、年月とともに耐久性が向
上する「成長するコンクリート」を作り出
します。細かな微粒子がコンクリートの隙
間を充填することできめ細かくぬめらか
で光沢のある美しい仕上がり面になり、機
能性のみならずデザイン性も向上。さらには、産業廃棄物排出削減や、代替頻度の減
少によるCO₂排出抑制にもつながる「工
コ材料」としての効果も認められています。
これまでには、フライアッシュにわずかに残
る未燃カーボンがコンクリート内に空隙
を作つてしまい、強度に悪影響を及ぼすほ
ど普及することがなかつたフライアッシュ
を加熱改質して未燃カーボンを除去する
ことで完成した高品質フライアッシュ
(Carbon-free Fly Ash)は、
JIS規格もクリアしており、現在、全国
的にシェアを拡大しています。

また、琉球大学工学部環境建設工学科
との共同研究により、CfFAをセメント
やモルタルに加えて「コンクリート補修材
」としての開発も進められています。既存の
建物の表面に塗布することにより、表層改
質による保護効果を高め、塩害や中性化か
らコンクリートを保護する効果も期待さ
れています。

沖縄でも木造建築物が増えってきたものの、
やはりまだまだコンクリート建造が主流。
強いコンクリートを使用し、建替えサイク
ルを大きく伸ばすことによつて、総合的な
費用削減につながる。100年持つコンクリ
ート建造物を目指し、今後も周知に努め



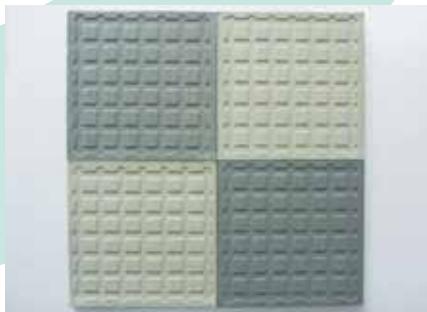
株式会社リュウクス
代表取締役 謝花一成



CfFA製造装置本体



CfFAを使用した琉球漆喰



琉球漆喰タイル



CfFA施工事例(コンクリート製浮桟橋)

ついでに、琉球漆喰をCfFAと混合させることにより通常の漆喰と比べて約40%の強化に成功。漆喰の表面を緻密化させることで、カビや汚れがつきにくく、漆喰本来の美しい白さを保つ効果も期待できます。

琉球漆喰は沖縄の宝。漆喰ばなれは手間とコストのためであり、メンテナンス費用がかかるところから自治体も敬遠しがちだが、これらの問題が解消されれば昔ながらの素材を取り入れたいと考えるはず。すぐにシェア復活を実現させるのは難しいが、時間をかけて琉球漆喰の魅力と新しい使い方を提案していきたい」と謝花氏は話します。

琉球漆喰にCfFAを混合させることにより危機感を抱いた謝花社長は、CfFAを琉球漆喰に応用できないかと考え、開発に乗り出しました。

琉球漆喰にCfFAを混合させることにより通常の漆喰と比べて約40%の強化に成功。漆喰の表面を緻密化させることで、カビや汚れがつきにくく、漆喰本来の美しい白さを保つ効果も期待できます。

株式会社リュウクスが取り扱うCfFA商品はCfFA-I種、II種、IV種の3種類。

粒子の大きさによって分類されており、それぞれに使用方法が分かれます。このうち、CfFA IV種を使用して製造される独自商品が「CfFA 使用琉球漆喰」です。

沖縄の建造物文化の象徴のひとつとされる琉球赤瓦屋根ですが、瓦止め材として使用される琉球漆喰はカビが生えて美観が損なわれたり、年月とともに劣化して瓦が剥がれる原因になることもあるなど、この点から年々需要が減少。現在では琉球漆喰を扱う企業も数件ほどとなり、市場規模も大きく縮小しています。こういった現状に危機感を抱いた謝花社長は、CfFAを琉球漆喰に応用できないかと考へ、開発に乗り出しました。



株式会社リュウクス

業種 加熱改質フライアッシュ関連製品の製造・販売
設立 平成24年1月11日
代表者 代表取締役 謝花一成
住所・連絡先 うるま市宇州崎7番地22
TEL.098-939-1181・FAX.098-939-1180
オフィシャルサイト <http://www.ryux.co.jp/>

ついでに、タイル状に成型した室内用琉球漆喰タイルも開発。運搬や保管が容易であり、手軽に内装壁材として使えるものです。さらに、タイル状に成型した室内用琉球漆喰タイルも開発。運搬や保管が容易であり、手軽に内装壁材として使えるものです。漆喰は調湿効果、消臭、抗菌、防カビ、耐火、断熱と様々な特性を持ち、安全で健康による建材として知られているが、沖縄は常識を覆すため手軽に生活に取り入れられる漆喰商品の開発に乗り出した」とし、快適な住環境のため数々の工夫を凝らし、新商品の開発に積極的に取り組んでいます。

「今回、社名を変更するにあたり、どうして株式会社リュウクスが取り扱うCfFA商品を「沖縄琉球」を意識した名称にこだわりたかった。沖縄の経済、雇用、環境保護に貢献するのみならず、ふるさと沖縄の文化を守り、次代へつなげていくために我々の技術を使いたいという思いがある」と謝花氏は話す。沖縄の製造メーカーとして地元に愛される存在でありたいと今後の目標を語っていました。

ついでに、「琉球漆喰」という言葉が、琉球漆喰の特徴である「漆喰は屋根に使うもので壁に使用するケースは少ない。この商品が「CfFA 使用琉球漆喰」です。沖縄の建造物文化の象徴のひとつとされる琉球赤瓦屋根ですが、瓦止め材として使用される琉球漆喰はカビが生えて美観が損なわれたり、年月とともに劣化して瓦が剥がれる原因になることがあるなど、この点から年々需要が減少。現在では琉球漆喰を扱う企業も数件ほどとなり、市場規模も大きく縮小しています。こういった現状に危機感を抱いた謝花社長は、CfFAを琉球漆喰に応用できないかと考え、開発に乗り出しました。

ついでに、「琉球漆喰」という言葉が、琉球漆喰の特徴である「漆喰は屋根に使うもので壁に使用するケースは少ない。この商品が「CfFA 使用琉球漆喰」です。沖縄の建造物文化の象徴のひとつとされる琉球赤瓦屋根ですが、瓦止め材として使用される琉球漆喰はカビが生えて美観が損なわれたり、年月とともに劣化して瓦が剥がれる原因になることがあるなど、この点から年々需要が減少。現在では琉球漆喰を扱う企業も数件ほどとなり、市場規模も大きく縮小しています。こういった現状に危機感を抱いた謝花社長は、CfFAを琉球漆喰に応用できないかと考え、開発に乗り出しました。

失われつつある琉球漆喰の文化を取り戻すCfFAの技術によって取り戻す

ついでに、「琉球漆喰」という言葉が、琉球漆喰の特徴である「漆喰は屋根に使うもので壁に使用するケースは少ない。この商品が「CfFA 使用琉球漆喰」です。沖縄の建造物文化の象徴のひとつとされる琉球赤瓦屋根ですが、瓦止め材として使用される琉球漆喰はカビが生えて美観が損なわれたり、年月とともに劣化して瓦が剥がれる原因になることがあるなど、この点から年々需要が減少。現在では琉球漆喰を扱う企業も数件ほどとなり、市場規模も大きく縮小しています。こういった現状に危機感を抱いた謝花社長は、CfFAを琉球漆喰に応用できないかと考え、開発に乗り出しました。

ついでに、「琉球漆喰」という言葉が、琉球漆喰の特徴である「漆喰は屋根に使うもので壁に使用するケースは少ない。この商品が「CfFA 使用琉球漆喰」です。沖縄の建造物文化の象徴のひとつとされる琉球赤瓦屋根ですが、瓦止め材として使用される琉球漆喰はカビが生えて美観が損なわれたり、年月とともに劣化して瓦が剥がれる原因になることがあるなど、この点から年々需要が減少。現在では琉球漆喰を扱う企業も数件ほどとなり、市場規模も大きく縮小しています。こういった現状に危機感を抱いた謝花社長は、CfFAを琉球漆喰に応用できないかと考え、開発に乗り出しました。



ちばりよ~県産品

株式会社ぬちまーす

●うるま市与那城宮城 2768
TEL 098-983-1111・FAX 098-983-1112
<http://www.nutima-su.com/>

「ぬちまーす」商品は、調味料としての「塩」にとどまらず、飲料や化粧品など、これまでにない斬新な製品が多くあります。



沖縄生まれの塩ぬちまーすが世界へ

株式会社ぬちまーすは、うるま市宮城島に工場を有し、特許を取得した独自の製法「常温空中結晶法」により、海水のミネラルを失うことなく製塩。ミネラル含有率世界一としてギネスブックに認定されるなど、国内外で数々の賞を受賞し、沖縄生まれの塩として県内ののみならず、県外、国外へもその名を広げています。

関連商品の種類も豊富であり、調理用塩だけでなく、ドレッシングや菓子などの加工品、高ミネラルを活かした美容品やスポーツ用品など、バリエーションに富んでいます。マグネシウム、カリウム、カルシウムを多く含み、

その効果が化学的に証明されていることから、有名女優やプロアスリートも好んで取り入れているといいます。「商品や会社の宣伝にはほとんど経費を使つていません。大々的なPRに巨額の資金を投じるよりも、技術開発に力を入れる」ということが重要です。」と創業者でもある高安正勝代表取締役は話します。宮城島の工場は直売所やカフェ併設した観光施設としても知られており、県外、海外から多くの観光客が足を運びます。

今後、商品の販売に製造が追いつかなくなることも考慮し、大量生産に必要な高効率の機器の開発と工場の増設も視野に入れていると高安氏は話します。現在、ぬちまーすがもたらす効果はIOC(国際オリンピック委員

会)やWHO(世界保健機関)といった世界的団体、企業等から注目されたり、株式会社ぬちまーすのみならず、沖縄経済にとつても大きな展開が期待されています。また、高安氏自らモナコ公国を訪問し、王室認定の塩としてモナコ国内で広めていくためのアプローチも積極的に進めているところであり、実現すればさらに巨大なマーケットが確立されます。

「海外で成功するためのポテンシャルがぬちまーすにはある。ただの調味料ではなく、人間が生きるために必要不可欠なものとして、ぬちまーすの塩を新しい世界の常識へと押し上げたい」とし、よりグローバルな展開に意欲を見せていました。

一方では、うるま市内の学校給食として商品を提供するなど、地域の子供たちの健康にも配慮。今後は子供たちのみならず、妊婦への商品提供も検討中だといいます。

高安社長は、「生命の源は塩であり、母親の体からまずは変えていくことで、アレルギーをはじめとする子供の健康問題解決へと導くことが可能なはずです。いずれ『ぬちまーす産婦人科』ができるときがくるかもしれません」とし、ぬちまーすのさらなる可能性についても模索しているところであります。小さな島から地域、世界へと広がるぬちまーすの今後に各方面から注目が集まっています。



太平洋に面した工場から直接汲み上げた海水を「常温瞬間空中結晶製塩法」により、ギネスが認めたミネラル含有量世界一の「ぬちまーす」が製造される工程も見学できます。

株式会社ぬちまーす
代表取締役 高安正勝

沖縄県食品産業協議会
竹内一郎 会長

沖縄県食品産業協議会の第39回通常総会が那覇市ザザンプラザ海邦で開催されました。

昨年より会長に就任した沖縄製粉株式会社竹内一郎社長が議長を務め、平成27年度事業報告・収支決算等について承認された他、平成28年度の事業計画・収支予算についても審議、可決されました。

閉会後は懇親会も行われ、主催者として竹内会長が「T P P（環太平洋戦略的経済連携協定）の影響、ガイドラインの改定等食品産業を取り巻く環境は日々めまぐるしく変化している。情報収集に努め、中央・地方の情報交換に取り組むことが必要。会員相互の連携を強めていきたい」と挨拶しました。懇親会には沖縄総合事務局農林水産部食料産業課から、新垣等課長補佐が来賓として出席されました。

また、株式会社まえさと前里健一代表取締役から乾杯の挨拶があり、貴重な情報交換の場となりました。

平成28年6月21日(火) ザザンプラザ海邦



株式会社まえさと 前里健一 代表取締役 沖縄総合事務局 農林水産部食料産業課 新垣等 課長補佐

一般社団法人沖縄県発明協会
新垣昌光 会長

また、第38回未来の科学の夢絵画展(全国展)伝達式も同会場にて行われ、受賞した子供たちへ新垣会長より賞状と記念品が授与されました。受賞作は会場にも展示され、会員たちは足を止めて子供たちの想像力豊かな作品を興味深く観覧しました。

会終了後は受賞した子供たちと家族も交えた懇親会が開催され、和やかな雰囲気の中で会員同士が親族を深めました。

一般社団法人沖縄県発明協会の第6回社員総会が沖縄県工業技術センター講堂にて開催されました。

議長を務めた新垣昌光会長を中心に、平成27年度の事業報告・収支決算承認、さらに平成28年度事業計画・収支予算、役員選任について審議、承認されました。発明協会が主となり実施する様々な事業についての報告、提案の他、ものづくりへの積極的な支援、新規企業の参加を促すためのPR活動についてなど活発な意見交換もありました。

第38回未来の科学の夢絵画展(全国展)伝達式も同会場にて行われました。



第6回社員総会、懇親会のようす



(一社)沖縄県発明協会「第6回社員総会」

平成28年6月21日(火) 沖縄県工業技術センター

(公社)沖縄県工業連合会青年部会「第1回全体会議」

平成28年5月27日(金) ダブルツリービューヒルトン那覇首里城(旧グランドキャッスル)

沖縄県工業連合会青年部会の平成28年度第1回全体会議が5月27日(金)に開催され、会場となつた那覇市のダブルツリービューヒルトン那覇首里城(旧グランドキャッスル)には多くの会員が集まりました。

仲里伸一郎部会長によるあいさつからはじまった会議は、部会長の進行により進められ、平成27年度事業報告書及び収支計算書について、平成28年度事業計画書案及び収支予算書案について審議されました。県産品奨励月間や沖縄の産業まつりなどの主要事業に積極的に協力し、事業の成功に貢献したことを報告。さらに新役員も選任、受理されました。「昨年の県内経済は概ね好調であり、完全失業率も低下するなど雇用の改善も見られた。今年度も経済状況を注意深く観察しながら県産業に貢献していくことが必要」と仲里氏を中心に団結を強めました。

6月9日(木)には親会である沖縄県工業連合会の第32回定時総会が控えており、毎年恒例となっている青年部会の音頭によるスローガン齊唱(7月1日(金)の県産品奨励月間・街頭パレードについても会員一丸となつて取り組むことを確認し、会議は終了となりました。

終了後には懇親会が催され、多くの会員が参加しました。青年部会では、運用規則

第6条2項によつて、会員がその年の4月1日をもつて、満46歳になる者は、卒業することが定められており、今年は4名の卒業者が出来ました。部会の事業運営に多大な貢献を残した卒業者へ感謝の意を表し、記念品の贈呈が行われました。懇親会は終始和やかに進み、会員同士が親睦を深めました。



輻射式冷暖房装置「エコウイン」記者会見

平成28年6月27日(月) 金秀アルミニ工業(株)

輻射式(放射式)冷暖房装置「エコウイン」の製造、販売が沖縄で開始されることとなり、記者発表が西原町の金秀アルミニ工業株式会社で行われました。

エコウインは直径6cmのアルミニウム製の管・ハイブリッドサーモエレメントに冷水や温水を通して放熱される遠赤外線によって、部屋を快適な温度に保つものであり、環境にも人にもやさしい次世代型冷暖房として注目を浴びています。沖縄県内でも中城村の護佐丸歴史資料図書館で全館に採用されるなど、シェア拡大しており、今年6月には沖縄県産品マーク表示許可も取得しています。

記者会見では金秀アルミニ工業株式会社代表取締役社長比嘉治彦氏、株式会社エコファクトリー代表取締役社長村上尊宣氏らが記者の取材に応じ、エコウインの高い冷暖房能力、CO₂削減、「コストダウン等の効果について解説しました。



金秀アルミニ工業株式会社
代表取締役社長
比嘉治彦氏



株式会社エコファクトリー
代表取締役社長
村上尊宣氏



障害者雇用に係る取り組み 工場視察及び支援事業説明会

平成28年6月14日(火) (株)ざまみダンボール

沖縄県工業連合会主催による「障害者雇用に係る工場視察及び支援事業説明会が6月14日開催されました。障害者を積極的に雇用している企業として、株式会社ざまみダンボールが視察場となり、糸満市の工場には県内企業・団体から多くの参加者が足を運びました。

工業連合会副会長であり株式会社ざまみダンボール代表取締役座間味勲氏が主催者代表として挨拶し、「障害者と一言いっててもその特徴や程度は人によって様々であり、適正な仕事を与えることによって充分に職員として働くことができます。」と話しました。同社では15年以上前から障害者雇用に積極的に取り組んでおり、現在、聴覚などの身体障害者4人、知的3人、精神1人の計8人が段ボールの貼り合わせや打ち抜き、検品、積み上げ作業にあたっています。実雇用率は8.25%と法定雇用率の2.0%を大きく上回っており、勤続年数も安定しています。勤続年数15年の男性は聴覚障害を持ちながらも丁寧かつ真面目な働きぶりが認められ、部署の機械長を務めています。ホワイトボードや通訳を介して他職員とも綿密なコミュニケーションを行っています。

ケーションを取っているといい、「多くりがいがあり、仕事は楽しい。定年まで勤めあげたい」と語っていました。

座間味氏は「障害者だからといって特別扱いせず、同僚、部下として自然に接しています。社員同士で常にコミュニケーションが取れる場が必要です。」とし、障害の有無に関わらず、誰もが意欲的に働く環境作りを重視しています。

説明会では、障害者の雇用支援制度や職場実習等の就職支援、障害者雇用納付金制度等、様々な制度について、ハローワーク那覇専門援助部門担当上席職業指導官大城正也氏、沖縄労働局就職支援コーディネーター目取眞藤江氏、高齢・障害・求職者雇用支援機構沖縄支部高齢・障害者業務課長島津陽介氏、障害者職業カウンセラー林田彩氏がそれぞれ概要を詳しく説明。参加した企業担当者に向

け、積極的な障害者雇用を促しました。また、西崎特別支援学校進路指導部宮城勝巳教諭が障害を持つ生徒たちの職場実習受入を嘆願。障害者雇用の現状を訴えました。



ハローワーク那覇専門援助部門担当
上席職業指導官
大城 正也 氏



沖縄労働局
就職支援コーディネーター
目取眞 藤江 氏



工場視察では、誰もが意欲的に働く同社の「職場環境づくり」に参加者からも高い関心が寄せられました。



高齢・障害・求職者雇用
支援機構沖縄支部
障害者職業カウンサー
林田 彩 氏



高齢・障害・求職者雇用
支援機構沖縄支部
高齢・障害者業務課長
島津 陽介 氏



西崎特別支援学校
進路指導部
宮城 勝巳 教諭



説明会では、障害者の雇用支援制度について、あらゆる側面からの概要説明があり、参加者も熱心に聞き入っていました。



主催者を代表して挨拶を述べる
(公社)沖縄県工業連合会副会長
座間味 勲 氏

琉球大学工学部後援会からのお知らせ

2016年5月 工学部後援会主催就職説明会報告

工学部後援会事務局 玉城史朗・長田智和



琉球大学工学部後援会は、後援会会員企業による就職説明会を5月11日(水)、18日(水)に地域創生総合研究棟1階多目的ホールを会場として開催致しました。6月1日の企業の面接活動解禁に合わせた開催です。今回の説明会の開催については、本学の年度初めの時期にあたり、後援会事務局の体制が切り替わる時期と重なり、会員企業様への告知が遅れた影響で、3月の開催時と比較して参加企業数が20社ほど少なくなりました。また、本学のメールシステムの不具合が原因で、メールによる参加申し込みが確認できなかつたために、本番直前まで実施要項等をお知らせできなかつた企業様が数社ございました。この点につきましては、大変申し訳ございませんでした。

さて、2日間の開催状況についてご報告致します。まず、参加企業数は、1日目は21社、2日目は20社で、計41社の企業様にご参加頂きました。また、1ブースあたりの学生訪問者数は平均2.2名でした。さらに、2日間の学生の参加者数は、延べ73名でした。

就職説明会終了後のアンケートによると、まず、企業様からのご意見としては、「学生が少なかった」「もう少し時間が長ければよし」などのご意見がありました。学生の参加が少なかったことで、参加企業様にとって十分満足できる機会とならなかつたことは、運営事務局として誠に申し訳ない限りです。また、開催時期や実施方法についても多数のご意見が寄せられております。運営事務局と致しましては、取り入れができるご要望につきましては、次回以降の機会で積極的に取り入れていきたいと考えています。

次に、学生からの意見や感想としては、「少人数で聞けたので詳しく知れてよかったです」「どの企業も丁寧に説明してくれて分かり易かったです」などが寄せられました。今回は学生の参加者が少なかつた分、1つのブースで個別に丁寧な説明を受けることができたことが有益だったという学生が多数ありました。工学部後援会主催の就職説明会と、民間のリクルート業者が運営する集団説明会の違いや、前者の優位性、意義を感じた学生が多くいたようです。



今後は、説明会に参加する学生を増やす対策を図るなど、本説明会がより有意義なものとなるよう尽力していく予定です。皆様のさらなるご指導とご協力をお願い申し上げます。

琉球大学工学部後援会事務局(情報工学科内／玉城史朗・長田智和)

【E-Mail】kouenka-members@ml.tec.u-ryukyu.ac.jp

TEL.098-895-8720(玉城)・8719(長田) FAX.098-895-8727(情報工学科事務室)



ホテルビジネス科のご案内

ホテルビジネス科では様々な実習を取り入れ、高い語学力・接客マナーを身につけたコミュニケーション力、豊かな人材の育成を目指し、きめ細かな技術指導をしています。



コミュニケーション能力

英会話や中国語をそれぞれ母国語とする講師から学びます。さらに手話・沖縄の伝統芸能も学び、身体による表現活動、コミュニケーション力を高めます。



接客サービス技術

接客サービススタッフとして、国家資格のレストランサービス技能士(HRS)の資格取得を目指します。本校は在学中にHRS 3級の受験資格がある認定校です。(実務経験免除)



経営マネージメント

ホテルの経営について学び、企画や営業のノウハウを習得します。12月には、企画・演出実習授業の一環で、学生による模擬イベントを開催します。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄職業能力開発大学校 (学務課まで)

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL. 098-934-6282 FAX. 098-934-6287

<http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/>

沖縄高専だより Okinawa National College of Technology

沖縄高専オープンキャンパス

2016年7月23日(土) (9:00~14:00)

会場:沖縄工業高等専門学校



●お問い合わせ:沖縄工業高等専門学校 総務課総務係 TEL:0980-55-4003 FAX:0980-55-4012

沖縄高専の教育や学校生活を知っていただく企画、小中学生に科学・技術のわくわくを体験していただく内容をご用意して、みなさまのご参加をお待ちしています。当日は総合受付までお越しください。

A1	工作教室 身の回りのもので、動くものを作ろう。 機械システム工学科の進学相談	機械システム工学科 創造実践棟1階講義室 1-4	F1	高専クエスト①:学費自動比較機 中学校卒業から就職までの学費を比較してみよう! ここから始まる! 参加したい人はまず、講義室2-2まで!	専攻科 創造実践棟2階講義室 2-2
A2	「サンドブラスト」体験 オリジナルグラスを作ろう。	機械システム工学科 創造実践棟 1階創造工房	F2	高専クエスト②:ダンジョンマット 踏むと音がなるよ!!	専攻科 創造実践棟2階と3階 の廊下
A3	水中ロボット操縦体験	機械システム工学科 体育館プール	F3	高専クエスト③:スライムの迷宮 頭脳vs野生! 経路を予想してセンサーで粘菌に打ち勝て!	専攻科 創造実践棟2階講義室 2-3
B1	通信や電気回路、パソコンを使った様々な体験	情報通信システム工学科 創造実践棟1階 情報通信工学実験室	F4	高専クエスト④:菌つり 宝箱のヒントをもとに装備を揃えろ! 君は何種類の菌を釣れるかな?	専攻科 創造実践棟3階講義室 3-2
B2	プログラミング体験 ロボットバトル、スクラッチ言語	情報通信システム工学科 創造実践棟2階 ソフトウェア演習室	G1	航空関連の仕事を知ろう	航空技術者プログラム 創造実践棟2階講義室 2-6
B3	電子回路工作の体験 電子オルゴール、ラジオ、音楽の自動演奏	情報通信システム工学科 創造実践棟3階 LSI設計演習室	H1	おもしろサイエンス広場	技術室 創造実践棟1階講義室 1-3
C1	メディア情報工学科 授業内容の紹介 授業で制作した作品のデモ	メディア情報工学科 創造実践棟1階 ネットワーク演習室	J1	図書館クイズ 公開講座「洋書から始める英語多読とシャドーウィング」(事前申込)	図書館 メディア棟4階図書館
C2	プログラミング体験 30分の模擬授業 1回目9:30~/2回目10:30~/3回目11:30~/4回目13:30~ 各回は同じ内容です。	メディア情報工学科 創造実践棟2階 メディアプログラミング演習室	K1	察見学ツアー 午前の受付 午後の受付	学生寮 創造実践棟1階講義室 1-1
C3	スタジオ見学 午前9:00~11:00/午後12:30~14:00 随時受付 10分程度の見学で入替制です。	メディア情報工学科 メディア棟3階スタジオ	K2	察見食体験 12:30~14:00 当日にチケット(400円)を購入してください。	察見食体験:レストラン チケット販売:創造実践棟1階ホール
D1	実験1「植物のふえかた」 梅干し・ミニトマト・イチゴ(冷凍)を食べる と…。深~い、奥深~いお話です!	生物資源工学科 創造実践棟4階 化学食品工学実験室	L1	学生の海外派遣・留学生の受け入れ紹介 学生による進学相談 キャリア教育紹介	グローバル交流推進センター 学生会 キャリア教育センター 創造実践棟1階講義室1-2
D2	実験2「天気管の製作(再結晶実験)」 天気によって結晶のでき方が変わる! ダーウィンもびっくりの科学実験です。	生物資源工学科 創造実践棟4階 化学食品工学実験室	M1	学校説明会 受験をお考えの方に本校の特徴や入試について説明します。 中学3年生に限らずどなたもご参加ください。 1回目 11:00~12:30 2回目 14:00~15:30 各回は同じ内容です。	メディア棟3階 視聴覚ホール
D3	学生による研究発表! 生物資源工学科の学生が、実際に研究した成果を発表します。 実験授業で書き上げたレポートも紹介します!	生物資源工学科 創造実践棟4階 化学食品工学実験室 (進学相談:講義室4-4)	E1	高専と高校のカリキュラム比較 教材展示 授業で作成した報告書・作品展示など	総合科学科 創造実践棟4階 演習室2

沖縄工業高等専門学校産学連携協力会事務局 (担当:喜屋武)

〒905-2192 名護市字辺野古905番地 TEL:0980-50-0133・FAX:0980-55-4012
E-mail:sangaku@m1.cosmos.ne.jp ホームページ: <http://www.cosmos.ne.jp/~sangaku/>





工業技術センターだより
Okinawa industrial technology center
<伸びゆく沖縄・支える技術>



食品・化学研究分野における分析機器のご紹介

工業技術センターでは、経済産業省が実施する電源地域産業関連施設等整備費補助金を活用し、分析機器を整備しました。これらの機器は、うるま市・金武町企業立地促進基本計画で産業集積を目指す製造関連産業について、企業立地の促進や産業集積の形成・活性化を行うために国の補助を受けて導入されています。沖縄の生物資源を活用した健康食品分野やバイオ技術を応用了した産業分野での製品開発、品質管理、科学的エビデンスの取得などにおける工業技術センターとの共同研究でご利用いただけます。

導入機器の紹介

①四重極飛行時間型質量分析装置(平成23年度)

有機化合物の精密質量や含有量を測定することで、食品等に含まれる個々の成分の種類や濃度を測定することができる装置です。

●アジレント社製 6500 Q-TOF LC/MS

イオン化法:ESI法、APCI法 アナライザ:四重極-飛行時間型



②核磁気共鳴装置(平成24年度)

有機化合物の構造を調べる装置です。化学構造の違いによる多くの情報が得られるため、物質の同定において必要不可欠な装置です。

●ブルカー・バイオスピン社製 AV400N

観測核:¹H、¹³C、³¹P、¹⁵N 観測周波数:400 MHz (¹H)



③顕微赤外分光光度計(平成25年度)

赤外吸収を利用し物質の構造に関する情報を得る装置で、樹脂の定性分析、製品中の異物分析、比較分析(同一物質であるかどうか)などに利用できます。

●日本分光株式会社製 FT/IR-4100、IRT-7200

測定モード:透過法、反射法、全反射法、高感度反射法、イメージング測定



④マイクロ波プラズマ原子発光分光分析装置(平成27年度)

海水、土壤、生物資源等に含まれるカルシウム、マグネシウム、鉄などのミネラルや、有害重金属類などの無機元素を、可燃性ガスを使用することなく高感度に測定することができる装置です。

●アジレント社製 4200 MP-AES

使用ガス:窒素 周辺機器:酸循環分解装置



その他様々な装置をご利用いただけます。詳しくはお問い合わせいただくか、下記ホームページをご覧ください。

沖縄県工業技術センターは県内製造業への技術的支援を通して産業の活性化に貢献することを使命として事業に取り組んでいます。「製品の開発に関して技術的なアドバイスがほしい」、「製品の品質を上げたい」、「研究開発の支援がほしい」などの技術課題解決や新製品・新技術開発への支援が必要な場合にはお気軽にご相談下さい。

沖縄県工業技術センター(技術支援班／企画管理班)

〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎12番2 TEL:098-929-0111・FAX:098-929-0115

E-mail:kousi@pref.okinawa.lg.jp(メルマガを始めています。)

●ホームページ: <http://www.pref.okinawa.jp/site/shoko/kogyo/index.html>

OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS TOPICS

沖工連青年部会 会員募集中！

青年部会は親睦会や勉強会等の活動を通して、工業界の青年層が気軽に情報交換できる会を目指しています。

- 加入資格／公益社団法人沖縄県工業連合会会員の役員及び従業員で45歳迄
- 会 費／入会金10,000円、年会費20,000円
- 会 員 数／19名(2016年4月現在)



お問合せ先：公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 (担当:川満)

公益社団法人沖縄県工業連合会 会員募集のご案内

公益社団法人沖縄県工業連合会は、昭和28年5月に「沖縄県における工業の育成及び振興を図り、もって県経済の発展に寄与すること」を目的に創立されました。現在では、製造業を中心に約350社の会員を有し、毎年7月の「県産品奨励月間」や「沖縄の産業まつり」などをとおして、県内製造業並びに関連産業の振興発展に寄与するため銳意努力しております。本会の主旨に賛同していただける方なら規模の大小は問いませんので、ご入会をお待ちしております。お気軽に事務局までお問合せください。

会員への主なサービスならびに特典

- 機関誌「工連ニュース」や電子メール等による各種情報サービスの提供
- 経営者や従業員を対象とした講習会、技術・経営セミナーなどの案内
- 公設試験研究機関との連携による技術力向上に関する事業などへの参加
- 県産品奨励月間事業(7月)における国・県・市町村、食品・建材大口需要者などに対する要請活動への参加
- 「県産品マーク」の取得
- 本会のインターネットホームページによる会員企業の紹介
- 「沖縄の産業まつり」の出展料の優遇
- 従業員表彰制度の活用(優良従業員・創意工夫功労者・優秀技能者)
- (一社)沖縄県発明協会との連携による産業財産権に関する情報提供など



会員の皆様へ「工連ニュース」で自社の商品をアピールしてみませんか？

会員の皆様には平素より本会機関誌「工連ニュース」の事業活動についてご理解・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「工連ニュース」では会員サービスの一環として会員の新商品などを紹介するコーナーを設けています。事業のPR、新商品の紹介などに積極的にご利用下さい。

●お問合せ先

公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 担当：川満



沖縄県産品
マーク表示制度
について

自社製品のピーアールに 「県産品マーク」を 使用してみませんか？

公益社団法人 沖縄県工業連合会



県産品マークとは…

県内で製造・加工された県産品に、「沖縄県産品マーク」を表示することによって、消費者等が県産品と県外産との識別を容易にしていただくとともに、消費者と安心・安全な県産品をつなぐ有効な手段として、公益社団法人沖縄県工業連合会が昭和61年に「沖縄県産品マーク表示制度」を定めたものです。現在では、食品、生活用品、建設資材、工芸品など多くの県産品に利用されています。

1 | 沖縄県産品マーク表示申請資格

- (1) 県内で事業を営む業者であって本会の会員であること。
- (2) 県内で製造された製品で本会が認めたもの。
- (3) 製造、又は販売について法令の定めるところにより許可を必要とする場合は当該許可等を受けたものであること。

2 | 沖縄県産品マーク表示対象品

県内で生産・製造、又は主たる加工がなされた加工品、家庭雑貨、工芸品、建材等、沖縄県産品マークの表示を必要とする全ての県産品。

3 | 申請方法

所定の表示申請書を作成し本会へ申請する。

4 | 申請料金

1製品につき30,000円



県産品マーク
表示商品
の一例

さらにおいしく
キレそのまま



飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。

妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は、おいしく、適量に。のんだあとはリサイクル

オリオンビール株式会社

<http://www.orionbeer.co.jp/>